

ロプロチメンバとお餅つき

芽生え
幼稚園

ソロプチも参加して園児と交流

朝から冷え込んだ19一日、城陽市寺田大谷、



ソロプチメンバーと元気にお餅をつく園児

芽生え幼稚園（西岡京子園長・園児120人）で恒例の『お餅つき』が行われ、園児は湯気の上がるお餅を元気にペタン、ペタンとつき上げた。

今年は保護者会（森博央会長）に、子どもたちとのふれあいを今年度のテーマにしている国際ソロプチミスト南京都（西井和子会長・会員25人）のメンバー9人も参加して例年以上に賑やかな餅つきになった。

9時から始まった餅つきは55キロのもち米

で約40臼をつき、園児一人ひとりや保護者会のお父さんが重い杵を持ち活躍。お母さんやベテラン主婦ぶりを見せたソロプチメンバーが臼取りやお餅をまるめるなど裏方に徹して和気あいあいの餅つきに。

つきあがったお餅は、黄な粉もちにして皆に振舞われ、園児は「おいしい。おいしい」と舌鼓を打ち、保護者やソロプチメンバーに「手伝ってくれてありがとう」と楽しい餅つきを話題にソロプチメンバーとの交流を深め、おみやげについたお餅も持ち帰った。